

◆6年生が「人権教育啓発センター見学」に行きました。

2月3日(金)、6年生が小郡市人権教育啓発センター(人権センター)の見学に行きました。

これまでに積み上げてきた部落差別に関する学習のまとめとして、総合的な学習の時間「今、人権を考える」の学習での見学でした。

まず、人権センター職員の香月先生から、人権センターの役割を話していただきました。

○「人権教育啓発センター」とは・・・

⇒「人権」を守り、大切にするための仕事をするところ
(教育＝主に学校 啓発＝主に社会全体)

⇒「人権」について誰もが自由に相談したり、学びにきたり
することができる

お話を聞かせていただいた後、館内を見学しました。「情報室」では、「人権」に関する多くの書籍やDVD等が集められており、子どもたちは自由じゆうに手に取って、見たり読んだりしていました。

最後に、2階の展示室も見学しました。人権に関係するものや、小郡市せきぐさの名誉市民で、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消に尽力され、世界的にも活躍された「上杉佐一郎」さんの書斎を復元した場所です。子どもたちは展示を見ながら、「自分たちの住む市に、上杉佐一郎さんのように差別と闘った方がおられることを誇りに思います。」という感想そうこうをもっていました。また、これだけ差別を無くす取組を行っているのに未だ差別が残っている現状について「差別とは、本当に根が深い問題だと思おもいます。私たちが正しく学び、本気で無くそうとしないと差別はなくならないと強く思いました。」という感想をもった子もいました。部落差別は遠い歴史上のものではなく、今も残されている重大な人権侵害であることを実感できた見学になりました。



【資料室見学の様子】



【展示室見学の様子】

◆5、6年生、生の音に触れた「音楽鑑賞会」でした！

同じく3日(金)、5、6年生は「音楽鑑賞会」でした。「本物の楽器の音色に触れさせたい」という、元校長の渡邊美穂子先生のお世話で、御原小学校と味坂小学校で開催されました。

フルートとクラリネット、ピアノの生演奏と、日本の歌を聴かせていただき、子どもたちは鑑賞の学習で聴いた楽器の音が、実は繊細かつ迫力あるものだと知り、とても感動していました。

本物に触れる体験は、やはり子どもの心を動かすことを改めて感じました。

【2月の予定】

【MEMO～ご自由にお使いください】



【音楽鑑賞会の一場面】

1	水	校外学習4年 ALT BBクラブ
2	木	
3	金	人権センター見学6年 音楽鑑賞会56年 BBクラブ
4	土	
5	日	
6	月	クラブ活動456年 クラブ活動見学3年 ALT
7	火	人権を考える日の取組 外国語専科56年
8	水	BBクラブ
9	木	
10	金	BBクラブ
11	土	建国記念の日
12	日	
13	月	ALT
14	火	
15	水	代表委員会3456年 がんばりカード(～28) BBクラブ
16	木	
17	金	なわとび集会 BBクラブ
18	土	
19	日	



